

ペプチド医薬品開発のひむか AM ファーマ、4億円を調達し臨床試験へ シリーズ B をファーストクローズ

指定難病の潰瘍性大腸炎などに向けたペプチド（アミノ酸の結合体）医薬品を開発する、ひむか AM ファーマ株式会社（本社・宮崎市、以下ひむか AM）は 2021 年 7 月 30 日、シリーズ B ラウンドの資金調達を 4 億円でファーストクローズしました。ひむか AM は間もなく、この資金を用いて開発品「HM201」の臨床試験を開始します。HM201 は投与の利便性を格段に向上させた新薬候補品です。

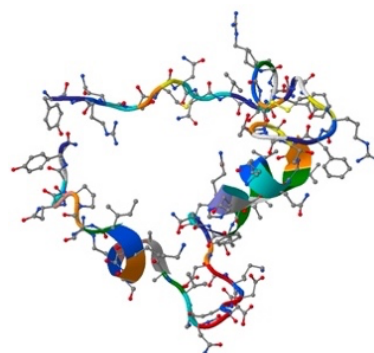
■ 粘膜修復に作用するアドレノメデュリン

HM201 の主成分は、ひむか AM の共同創業者である北村和雄（宮崎大学特別教授）が発見したペプチド「アドレノメデュリン（AM）」をベースにしています。AM は上皮細胞のバリア機能の修復・維持に関わる物質です。慢性炎症により傷んだ腸粘膜の修復を促進します（右図参照）。

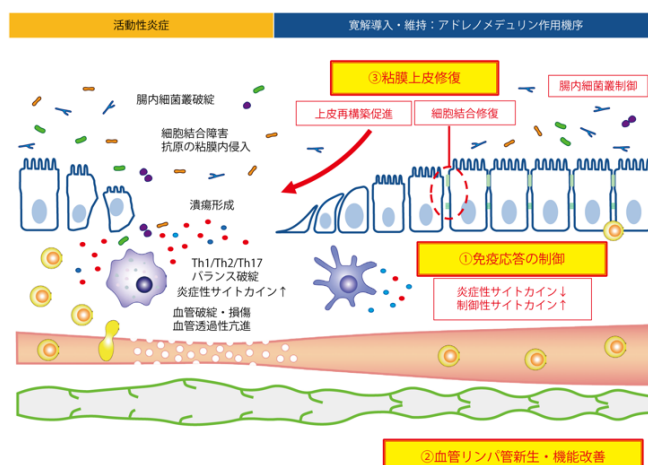
AM は、抗炎症・免疫抑制を主作用とする医薬品とはたらし（機序）が異なるため、副作用リスクが低い特長も備えています。ひむか AM の開発パートナーである宮崎大学では、臨床試験（Phase2a 試験）において一定の有効性を確認しました。

■ 投与簡便な HM201

こうした AM の投与における利便性を大幅に向上したのが HM201 です。ひむか AM は非臨床試験で、安全性、薬効や安定性に関する初期目標を既に達成しており、シリーズ B ラウンドで調達した資金を用いて臨床試験（Phase1 試験）を始めます。



アドレノメデュリン



腸炎改善効果の機序

出所：Ashizuka S et al, *IBD Research* 14: 183-191, 2020 図 2

シリーズ B ラウンドに参加した主な投資家は、三菱 UFJ ライフサイエンス 1 号投資事業有限責任組合（無限責任組合員：三菱 UFJ キャピタル）、QB 第一号投資事業有限責任組合（同：QB キャピタル）、みやぎん宮崎大学夢応援投資事業有限責任組合（同：宮銀ベンチャーキャピタル）、KSP6 号投資事業有限責任組合（同：ケイエスピー）、ベータ 2020 投資事業有限責任組合（同：ドーガン・ベータ）、みやぎき未来応援 2 号ファンド投資事業有限責任組合（同：宮崎太陽キャピタル）および複数のエンジェル投資家などです。ひむか AM は今回のファーストクローズに続き、さらなる資金調達を実施します。

ひむか AM 代表取締役の新城裕司は次のようにコメントしました。「HM201 の臨床試験開始は炎症性腸疾患に苦しむ方にとっての福音です。先進国だけで 500 万人とも言われる難病で苦しむ方々に、新しいアプローチによる安全性の高い薬を早期に提供すべく、臨床試験の遂行に全力で取り組みます。」

■会社概要

社名：ひむか AM ファーマ株式会社

事業：新規創薬シーズの研究開発、ライセンスング

設立：2017 年 2 月 1 日

所在地：〒880-0812 宮崎県宮崎市高千穂通 2 丁目 5 番 36 号

Web サイト：<https://www.himuka-am.com/>